

—貼る文化を世界へ—

当社の一般用医薬品「サロンパス®」に代表される外用鎮痛消炎貼付剤は、「貼る」ことで痛みやコリを治療する医薬品として、1934年の発売以来、多くのお客さまにご信頼いただき、ご愛用いただいています。

近年、貼付剤は皮膚を通して全身性の薬物を投与する経皮薬物送達システム(TDDS:Transdermal Drug Delivery System)として脚光を浴びるようになりました。TDDS製剤は、薬物を持続的に皮膚から吸収させることにより適切な血中濃度を長時間にわたり維持することができる、胃腸から吸収され最初に肝臓で代謝されることによる薬物血中濃度の低下(一次通過効果)や肝臓への負荷を回避できる、胃腸を荒らしたりする副作用が低減できる、内服薬を飲み下すことが難しい患者さまへも投与可能である、副作用が発現した場合にも剥離により簡単に投与中断ができる、などQOL(クオリティ・オブ・ライフ:生活の質)の向上にもつながる数多くのメリットを有しています。TDDS製剤は、製剤技術の進展によって、これまでのような皮膚や筋肉・関節痛といった局所の疾患領域にとどまらず、狭心症、高血圧、ぜんそくなど全身性の幅広い疾患領域でも商品化されており、さらなる研究開発が進められています。

当社は、もっと多くのお客さまに「貼って手当てすることの良さをわかっていただく」、「貼って手当てすることに驚きと、安らぎと、感動があることをわかっていたら」、「私たちは、この願いを「サロンパシィ®/Salonpathy®」という言葉に託し、世界に誇れるTDDS製剤をはじめとする貼付剤の創製と製剤技術の向上に一層集中してまいります。

そして、貼る文化を世界へ広げて「貼って手当てすることの良さを伝える」ことを私たちの企業使命とし、「世界の人々のQOL向上を目指す」ことを経営理念と定め、全世界展開を行ってまいります。

編集方針

当社では、2007年にCSR推進の体制を立ち上げ、種々の活動に取り組んできました。このたびその活動内容をお伝えするために「CSR報告書」を発行する運びとなりました。報告書の作成にあたっては、正確性と分かりやすさに重点をおきました。今回が最初の報告書であることから、寄せられた皆さまのご意見を今後の活動に役立てることも本報告書発行の目的であると考えております。なにとぞ、多くの方にご覧いただき、率直なご意見をいただけますよう、宜しく願い申し上げます。

<本報告書について>

報告対象組織：久光製薬株式会社
報告対象期間：2007年3月1日～2008年2月29日
(一部2007年3月以前と直近の情報を含みます)
報告書発行：2008年9月
次回発行予定：2009年7月

<作成部署およびお問い合わせ先>

久光製薬株式会社CSR推進室
〒841-0017 佐賀県鳥栖市田代大官町408
TEL：0942-83-2101(代表)
FAX：0942-83-6119(代表)

<関連企業情報入手先(久光製薬ホームページ)>

URL：<http://www.hisamitsu.co.jp/>

CONTENTS

企業使命と経営理念	1
トップメッセージ	3
会社概要	5
事業内容	6
久光製薬の社会的責任	7
久光製薬のステークホルダー	8
コーポレートガバナンスとCSR推進体制	9
商品にかかわる全段階で責任を果たす	11
お客さまとのかかわり	12
従業員とのかかわり	13
社会とのかかわり	14
環境	18
環境パフォーマンス	21
久光製薬の沿革	25
第三者意見	27